※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学) 文化と民族	単位数	１単位	年次	集中講座 (2・3 年次)
使用教科書	なし						
副教材等	ワークシート						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・国立民族学博物館の見学をとおして，世界の諸民族の生活文化に触れる。そのなかで，自分たちの文化との相似点・相違点を見出し，文化形成の背景を洞察させる。また，大阪人権博物館を見学し，民族差別の歴史を学び，差別のない多文化共生社会を築くための方策を考えよう。

・さまざまな民族の文化が自然・社会環境に応じて育くまれたことを理解し、異文化を尊重し、国際協調する態度を養おう。

2　学習の到達目標

（１）自らが設定した課題に関連する資料を分析し、地理的・歴史的知識と関連させる。

（２）収集した文献をもとに、文化や民族に関する諸問題について理解を深める。
身につけた知識に関連するテーマについて、フィールドワークやアンケート調査を行う。
その結果について、自らの考えをふまえながらも適切に表現する。

（３）課題設定、仮説検証、結果発表までを計画し、実行する力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・基本的な文化と民族に関する知識を定着させ 、その特色を理解している。 ・文化や民族がさまざまな自然・社会環境に応じて育くまれたことを理解している。	・フィールドワークなどにおいて収集した各種資料を使ってプレゼンテーションを展開し、参考図書やインターネットを使った資料検索などを行うことができる。 ・資料を基にしたレポートを作成し、考察を交えた発表をすることができる。	・文化と民族について、地理的条件や歴史と関連付けて理解しようとする。 ・さまざまな観点の提示や資料読解を通して、歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
二学期	世界の文化と民族	国立民族学博物館の見学とそれに伴う学習	a:博物館への事前学習を行い、見学のためのポイントを整理し、世界の文化と民族について理解している。 b:民族博物館においてのワークシートを整理し、完成させることができる。 c:見学を行い、自分たちの文化との相似点・相違点を見出し、文化形成の背景を理解しようとしている。	事前学習においてのレポート	ワークシート	授業観察 レポート
三学期	民族差別の歴史	大阪人権博物館の見学とそれに伴う学習	a: 博物館への事前学習を行い、見学のためのポイントを整理し、日本（大阪）の民族差別について理解している。 b: 人権博物館においてのワークシートを整理し、完成させることができる。 c: 見学を行い、差別のない多文化共生社会を築くための方策を考えたものをまとめようとしている。	事前学習においてのレポート	ワークシート	授業観察 レポート
	発表	2 つの博物館の見学を通して学んだことをスライドで発表	a:文化と民族について、地理的条件や歴史と関連付けて発表することができる。 b:スライド発表において、収集した文献等をもとに、文化や民族に関する諸問題について理解し、整理して発表することができる。 c:発表を基にしたレポートを作成し、グループで共有することで評価し改善しようとしている。	スライドを用いた発表	スライドにおける資料活用	レポート 相互評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度